

調査地区の機能診断結果について ～坂井北部地区 施設機能診断調査～

1 坂井北部地区の概要

坂井北部地区は、福井県北部のあわら市と坂井市にまたがる標高40m前後の緩やかな丘陵地に位置しており、昭和43年度～昭和61年度にかけて、国営総合農地開発事業により、九頭竜川から導水し農業用水を確保するとともに、農地造成、水田と畑の区画整理、水田の用水補給が行われています。

本調査の対象施設である「新江導水路」は、九頭竜川の鳴鹿堰堤で取水された水を地区に導入するための水路で、サイホン、トンネル等の函渠を主体とした全長14.6kmの複合水路です。導水路により安定的に供給される農業用水は、地区営農の発展に重要な役割を担っています。

2 機能診断結果

本調査では、新江導水路内の目視調査、コンクリート強度推定試験、コンクリート中性化試験を実施しました。実施した調査結果をもとに、施設の状態を5段階「S-1（状態が悪い）～S-5（状態が良い）」で評価します。

(1) ボックスカルバート区間

全体的に骨材の露出が確認されるため「S-4評価」とした。

(2) サイフォン区間（五味川サイフォン、竹田川サイフォン）

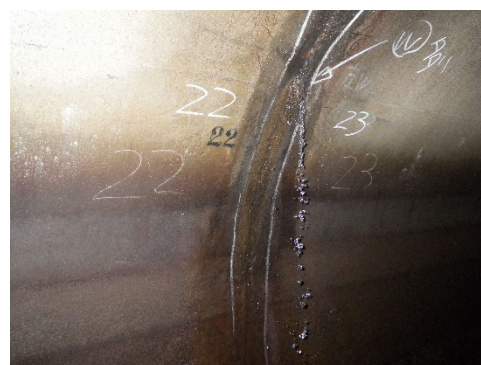
部分的に発錆が確認されるため「S-4評価」とした。

(3) トンネル区間（金津隧道）

部分的に漏水が確認されるため「S-3評価」とした。



コンクリート強度推定試験状況



漏水箇所(金津隧道)

3 今後の予定

令和3年度は新江導水路の未調査区間と中央幹線用水路の機能診断調査を予定しています。